

一般社団法人 日本応用地質学会 令和7年度研究発表会
特別セッション4

「自然災害碑伝承碑からみる地域災害とアウトリーチ活動」



日本応用地質学会

9. 自然災害伝承碑の 学会の調査結果の公開と利活用

災害地質研究部会 千田 敬二（八州）
下村 博之（パスコ）
金山 健太郎（大日本ダイヤコンサルタント）

令和7年 10月8日(水)
会場:札幌市教育文化会館

発表内容

- ▶ **1. はじめに**
- ▶ **2. 自然災害伝承碑の活動状況・担当委員**
- ▶ **3. 自然災害伝承碑の登録状況**
- ▶ **4. 国土地理院との連携状況(打合せ)**
- ▶ **5. web-GISを利用した自然災害伝承碑マップの作成と学会の調査結果の公開**
- ▶ **6. 今後の自然災害伝承碑の取組みの方向性**

1. はじめに



国土地理院の取組み	日本応用地質学会の取組み
・2018年7月 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)発生	・2018年7月 平成30年7月豪雨(西日本豪雨)調査時に注目
撮影:大阪府警察	
平成30年7月豪雨(西日本豪雨)での土石流被災地に建立されていた水害碑(広島県坂町)(建立年:1940年) 平成30年7月豪雨後に新しく建立された坂町水害碑(建立年:2021年)	明治40年の災害を伝える水害の碑(広島市安芸区矢野東5丁目) 大正15年の災害を伝える水害の碑(府中町山田1丁目 貴船神社境内) 府中町 榎川
新しく建立された碑の隣には土石流の石があり「災害から自分の身を守るためには、早めの避難をすることが最も重要」との説明あり。	上野将司(2019):土石流災害地の災害碑に関する検討,平成30年7月豪雨災害(西日本豪雨災害)調査団報告書 pp.275-279
・2019年3月 自然災害伝承碑の取組開始報告 ・2019年6月 自然災害伝承碑の地図記号制定 ・2019年6月 地理院地図に掲載開始 ・2020年7月 掲載数が1,000基を超える ・2021年11月 ハザードマップポータルサイトの重ねるハザードマップへの掲載を開始 ・2023年9月 掲載数が2,000基を超える ・2025年9月 掲載全国666市区町村2,384基	・自然災害伝承碑の研究は、気象条件や地形・地質条件の複雑な我が国にあって、地域性を有する自然災害への「災害碑から学ぶ地域災害」としての事例研究を進める。そして自然災害伝承碑による地域災害に対する防災・減災への応用地質的対応やアウトリーチとして、研究成果を発信していく。 ・2022年4月より国土地理院と日本応用地質学会(災害地質研究部会)は自然災害伝承碑に関する意見交換を継続しており、2025年2月に3回目の打合せを行う。 ・自然災害伝承碑について、調査票をWeb-GISを利用して一般公開。
国土地理院HP: https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_about.html (2025年10月3日閲覧)に追記	日本応用地質学会 災害地質研究部会ページ: https://www.jseg.or.jp/committee/disaster/

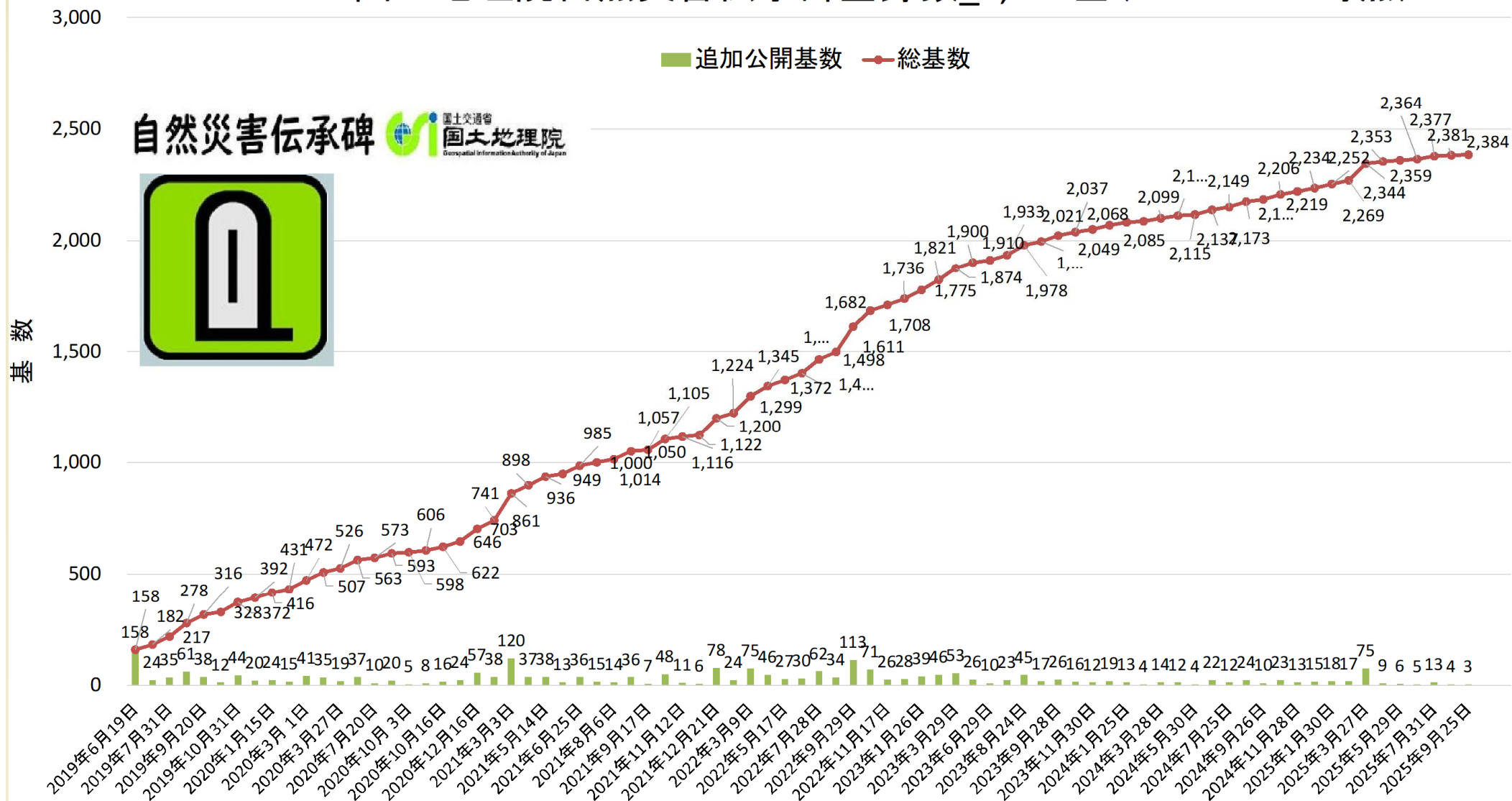
■本発表の主旨

- ▶ 研究部会の自然災害伝承碑の活動状況, 国土地理院との連携, web-GISを利用した自然災害伝承碑マップの作成、調査結果の公開、及び今後の取組みの方向性について報告する。

1. (参考) 国土地理院自然災害伝承碑登録状況



国土地理院自然災害伝承碑登録数_2,384基(2025.09.25時点)



2025年9月25日時点_期間6年3箇月更新78回(国土地理院HP登録数より作成)
登録666市区町村(2025年8月15日時点総務省統計の全国1,912市区町村の約35%に相当)

2. (1)研究部会の災害碑担当

本日の発表 (5名)
北海道支部、北陸支部
東北支部、九州支部、本部



令和7年度JSEG災害地質研究部会災害碑関連担当委員名簿(暫定)

2025.09.19時点

役職名	氏 名	所 属	災害碑担当など
部会長 (本部)	下村 博之	(株)パスコ企画部災害対策グループ 〒153-0064 東京都目黒区下目黒1-7-1 パスコ目黒さくらビル4F	HP・GIS関連全般 総務委員会、広報・情報委員会
副部会長 (本部)	千田 敬二	(株)八州 地理空間情報部 〒135-0042 東京都江東区木場5-8-40 東京パークサイドビル4F	災害碑関東地区担当 国土地理院連絡窓口
幹事 (本部)	佐藤 昌人	国立研究開発法人防災科学技術研究所 企画部企画課(兼務) 巨大地変災害研究領域 地震津波複合災害研究部門 〒305-0006 つくば市天王台3-1	研究部会Web, GIS-Web担当
幹事 (本部)	金山 健太郎	大日本ダイヤコンサルタント(株)インフラ技術研究所 技術開発部 空中探査事業室 〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3 三番町UFビル4F	災害碑関東地区担当, GIS-Web担当 応用地質学教育普及委員会
幹事 (北海道支部)	倉橋 稔幸	寒地土木研究所 地質研究監 〒062-8602 札幌市豊平区平岸1条3丁目1-34	災害碑北海道地区担当 北海道自然災害史研究WG活動中
委員 (東北)	橋本 修一	(株)東北開発コンサルタント調査部 〒980-0804 仙台市青葉区大町2-15-33	災害碑東北地区担当
幹事 (北陸支部)	堀松 崇	(株)興和 調査部 〒950-8565 新潟市中央区新光町6-1	災害碑北陸地区担当
幹事 (中部支部)	加藤 靖郎	川崎地質(株) 企画・技術本部 防災砂防室(西日本支社駐在) 〒550-0014 大阪市西区北堀江2-2-25	災害碑担当, GIS-Web担当 災害碑中部地区担当
幹事 (関西支部)	塚本 峻一	アジア航測(株)西日本インフラ技術部社会インフラ技術一課 〒530-6029 大阪市北区天満橋1-8-30 OAPタワー29F	GIS-Web担当
委員 (関西)	北田 奈緒子	一般財団法人GRI財団 理事 兼 業務統括 〒540-0008 大阪市中央区大手前2丁目1番2号 国民會館大阪城ビル6階	災害碑担当幹事, 関西地区担当 学会副会長、理事
幹事 (中国・四国支部)	西山 賢一	徳島大学大学院社会産業理工学研究部 〒770-8506 徳島市南常三島町2-1	災害碑中国四国地区担当 中国四国支部長、理事
委員 (中国・四国)	木村 一成	ケイジオ 〒791-1101 愛媛県松山市久米窪田町436-4 メゾン久米1号棟115	災害碑担当
幹事 (九州支部)	梅崎 基考	株式会社 アバンス 本日発表者:矢田純(カミナガ・WG) 〒862-0942 熊本市東区江津1丁目3番48号	災害碑九州地区担当 九州災害碑WG活動中
顧問	稲垣 秀輝	(株)環境地質 〒210-0014 川崎市川崎区貝塚1-4-15-203 ライオンズマンション第10	前研究部会長、理事 応用地形、環境地質

2. (2)学会研究発表会での活動状況



令和4（2022）年研究発表会（関西大学）特別セッション「自然災害伝承碑による地域災害の応用地質とアウトリーチ」

令和4年10月14日 15：10～17：30 ■国土地理院、本部、各支部及び海外での自然災害伝承碑の活動状況及び総合討論

発表順	プログラムNo.	発表タイトル	著者(名前)	著者(所属)
1	63	自然災害伝承碑に関する地図情報の整備と活用の可能性	○栗栖 悠貴 宮下 妙香	国土地理院
2	64	自然災害伝承碑調査票とその活用	○稲垣 秀輝 下村 博之	環境地質 パスコ

令和5（2023）年研究発表会（秋田） 特別セッション「応用地質学から見た関東大震災 100 年と地域の地震災害」

令和5年10月6日 14：35～18：00 ■本部、各支部の自然災害伝承碑の活動状況及び総合討論

発表順	プログラムNo.	発表タイトル	著者(名前)	著者(所属)
1	54	関東大震災から100年の応用地質学的課題	○稲垣 秀輝	環境地質
2	55	関東地震(1923)による土砂災害の概要と復旧・復興に果たした神戸の役割	○井上 公夫	砂防フロンティア整備推進機構

令和6（2024）年研究発表会（高松） 特別セッション「自然災害伝承碑から解き明かす地域災害」

令和6年10月10日（木）15:50-17:35 ■川崎茂信元国土地理院長招待講演、及び部会、九州支部、北海道支部活動状況

発表順	プログラムNo.	時間.	発表タイトル	著者(名前)	著者(所属)
1	32	15:50～16:50	【招待講演】自然災害伝承碑プロジェクトの第二ステージへの期待	○川崎 茂信	元国土地理院長 国土技術研究センター

2. (3)学会研究発表会での活動状況



令和7年度（2025）研究発表会（北海道）特別セッション4 自然災害伝承碑からみる地域災害とアウトリーチ活動

令和7年10月8日（水） 14：45～16：20 ■国土地理院、北海道支部、北陸支部、九州支部、東北支部、本部

発表順	プログラムNo.	発表タイトル	著者(名前)	著者(所属)
1	4	【招待講演】自然災害伝承碑の取組	○田中 信	国土地理院北海道地方測量部
2	5	北海道の自然災害伝承碑「十勝岳の1926年噴火」	○倉橋 稔幸・北海道自然災害史研究WG	寒地土木研究所 日本応用地質学会北海道支部
3	6	新潟の自然災害と伝承碑 (※1)	○堀松 崇 佐藤 壽則	興和 日さく
4	7	九州の自然災害伝承碑	○矢田 純 九州災害碑WG	カミナガ 日本応用地質学会九州支部
5	8	東北の自然災害伝承碑	○橋本 修一	東北開発コンサルタント
6	9	自然災害伝承碑の学会の調査結果の公開と利活用	○千田 敬二 下村 博之 金山 健太郎	八州 パスコ 大日本ダイヤコンサルタント
—		質疑応答・討議(15分程度)		
参考 (他のプログラムで災害伝承碑に関わる発表)	35	北海道の自然災害伝承碑「猿払村インディギルガ号海難事故及び中川町上国根府渡船転覆事故」	○中田 光治 倉橋 稔幸 仁科 健二 大浦 宏照	寒地土木研究所 北海道立総合研究機構 HRS
	36	箱根地域での自然災害伝承碑と地域自然災害の繰返し性	○稲垣 秀輝	環境地質
	P18	web-GISを利用した自然災害伝承碑マップの作成 ー災害地質研究部会の取組事例ー	○金山 健太郎 下村 博之 千田 敬二 佐藤 昌人 加藤 靖郎 塚本 峻一 災害地質研究部会	大日本ダイヤコンサルタント パスコ 八州 防災科学技術研究所 川崎地質 アジア航測 日本応用地質学会
	P19	熊本県の自然災害伝承碑	○梅崎基考 九州災害碑WG	アバンス 日本応用地質学会九州支部

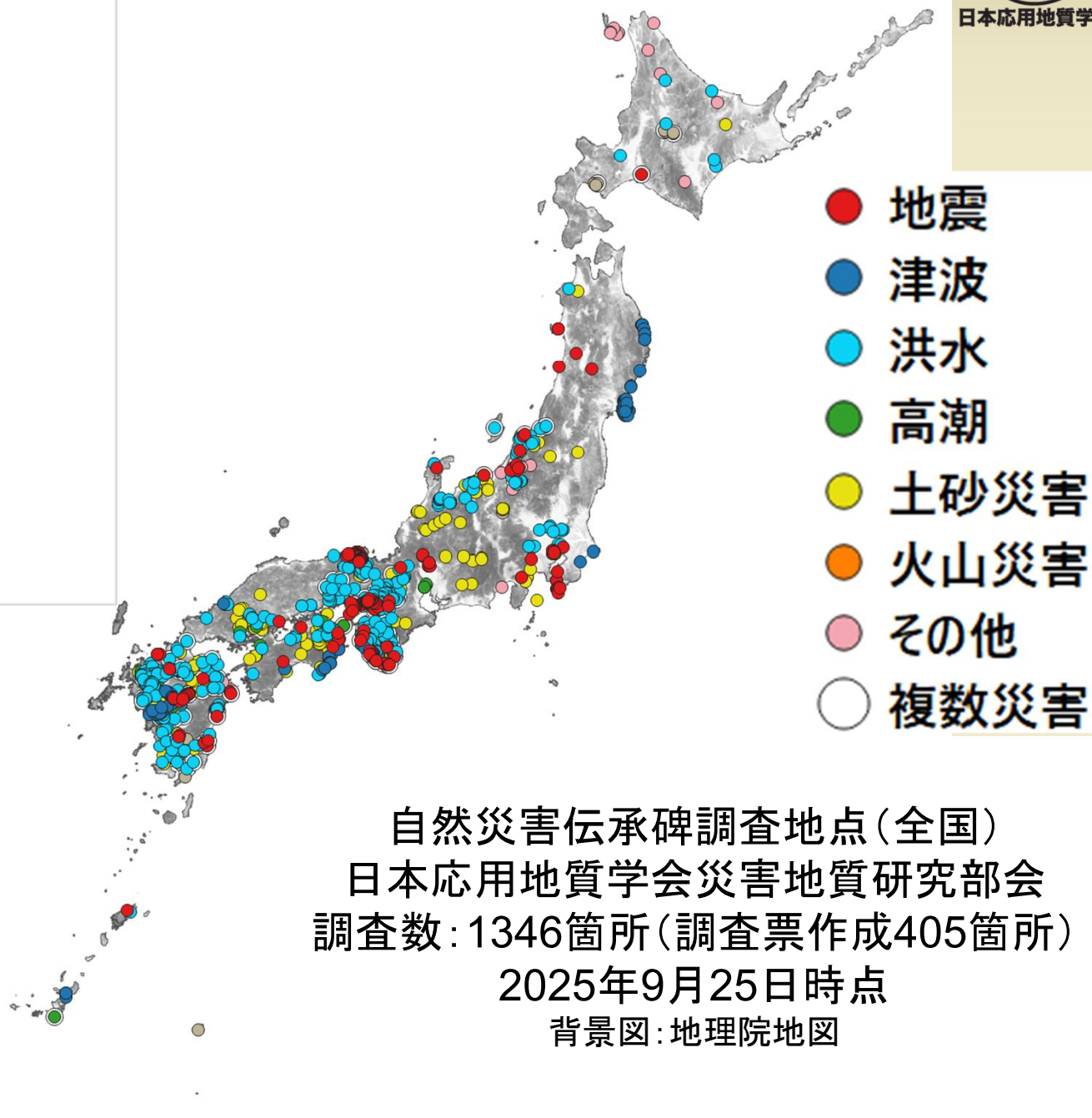
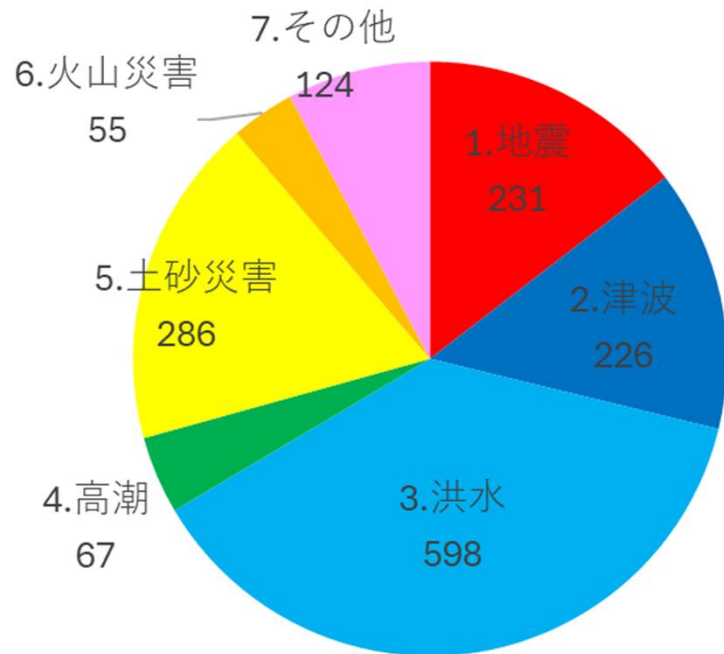
(※1)2025.9.6～7:日本応用地質学会・北陸支部:

第10回防災推進国民大会(ぼうさいこくたい2025 in 新潟):自然災害伝承碑のブース展示による参加

3. (1)研究部会の自然災害伝承碑の登録状況



日本応用地質学会



自然災害伝承碑調査地点(全国)
日本応用地質学会災害地質研究部会
調査数:1346箇所(調査票作成405箇所)
2025年9月25日時点
背景図:地理院地図

3. (2)研究部会の自然災害伝承碑の登録状況



日本応用地質学会

都道府県	調査数	調査票 作成数	災害種別								地理院地図		都道府県	調査数	調査票 作成数	災害種別								地理院地図	
			1.地震	2.津波	3.洪水	4.高潮	5.土砂 災害	6.火山 災害	7.その 他	複数 災害	掲載	非掲載				1.地震	2.津波	3.洪水	4.高潮	5.土砂 災害	6.火山 災害	7.その 他	複数 災害	掲載	非掲載
01.北海道	33	33	1		6		5	15	10	(4)	15	18	25.滋賀県	31		1		25		6		1	(2)	29	2
02.青森県	2	1			1		1				2	0	26.京都府	101	6	31		54		10		22	(14)	30	71
03.岩手県	11	11		11							10	1	27.大阪府	167		13	11	89	18	4		60	(28)	27	140
04.宮城県	56	33		56							49	7	28.兵庫県	105	14	50	3	49	4	25		5	(28)	97	8
05.秋田県	5	5	5								5	0	29.奈良県	31		1		26		17		1	(14)	31	0
06.山形県													30.和歌山県	148	4	35	56	82		23			(48)	80	68
07.福島県	2	2					2				1	1	31.鳥取県												
08.茨城県	3	3			3						3	0	32.島根県	6	6		1	5						6	0
09.栃木県												0	33.岡山県	5	5			5						4	1
10.群馬県	7	7					1	6			7	0	34.広島県	34	34	1		6	1	26				25	9
11.埼玉県	8	8			8						7	1	35.山口県	3	3			2	1					3	0
12.千葉県	15	15	12	2	1						13	2	36.徳島県	43	43	3	22	8	1	9				38	5
13.東京都	14	14	9		2	2	1				14	0	37.香川県	14	14	1		4	2	6				12	2
14.神奈川県	6	6	2				3				4	2	38.愛媛県	7				3	1	3				7	0
15.新潟県	67	67	14	2	31		20		12	(12)	56	11	39.高知県	6	6	1	1	1	1	2				6	0
16.富山県	18				15		3				13	5	40.福岡県	22	14	3		16		7			(4)	14	8
17.石川県	7		1		2		5				7	0	41.佐賀県	95	17	1		67	11	15		8	(7)	17	78
18.福井県													42.長崎県	27	3		13	10		22	3		(21)	3	24
19.山梨県													43.熊本県	98	10	23	34	20	13	28			(17)	10	88
20.長野県	7	2			1		6				5	2	44.大分県	30	8	3	2	18	2	15		2	(12)	8	22
21.岐阜県	13		8				5				12	1	45.宮崎県	34	3	7	6	22		4	3	1	(8)	3	31
22.静岡県	3						2		1			3	46.鹿児島県	48	8	2		16	4	9	27		(10)	8	40
23.愛知県	1						1				1	0	47.沖縄県	8		3	6		1		1	1	(4)		8
24.三重県	5					5					4	1	総計	1346	405	231	226	598	67	286	55	124	(233)	686	660

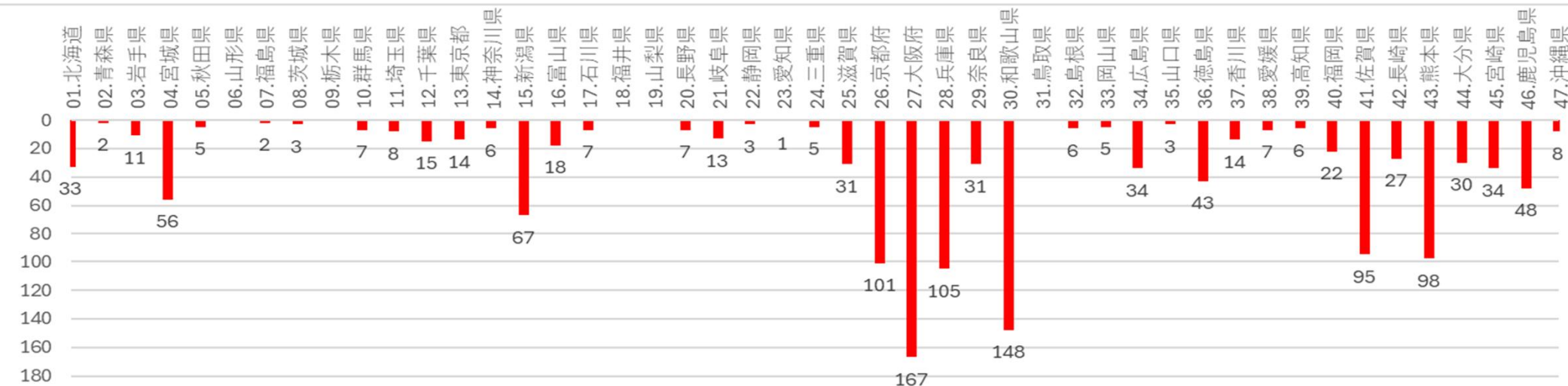
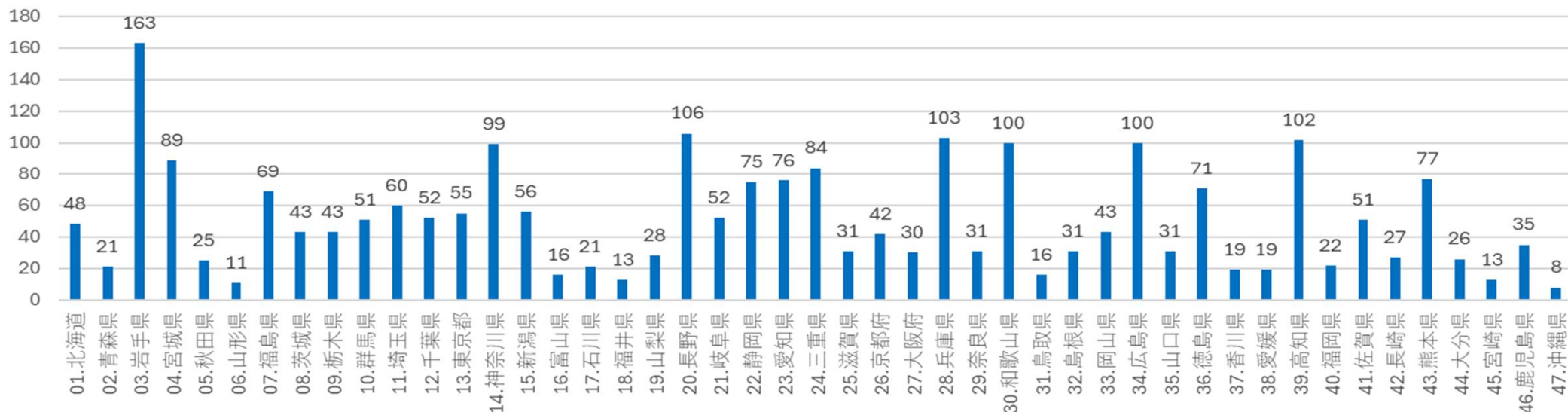
※地理院地図掲載／非掲載は、調査時点での調べ

3. (3)地理院、研究部会の災害碑の登録状況



日本応用地質学会

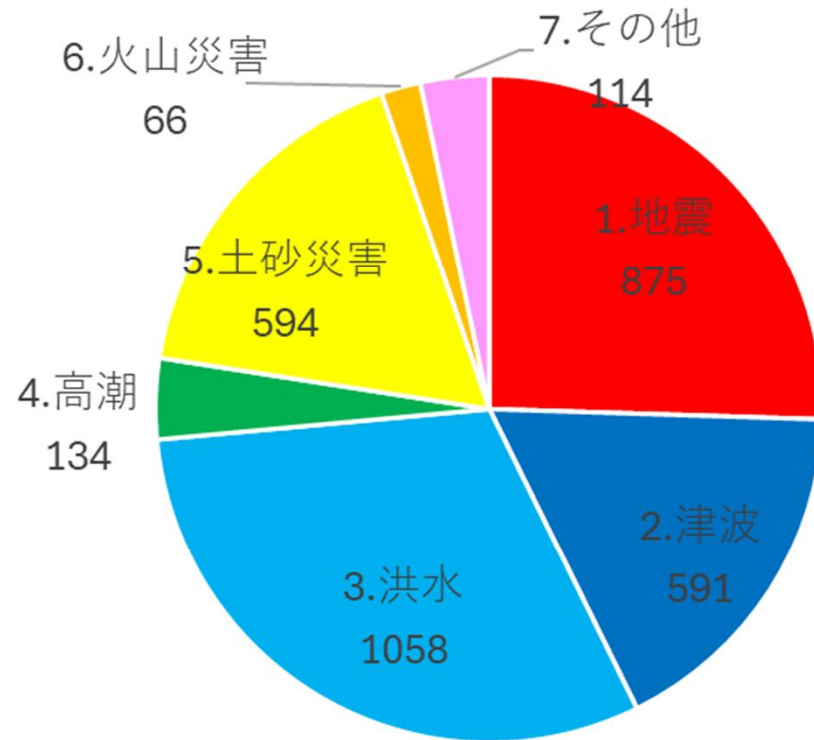
国土地理院 2025年9月25日時点



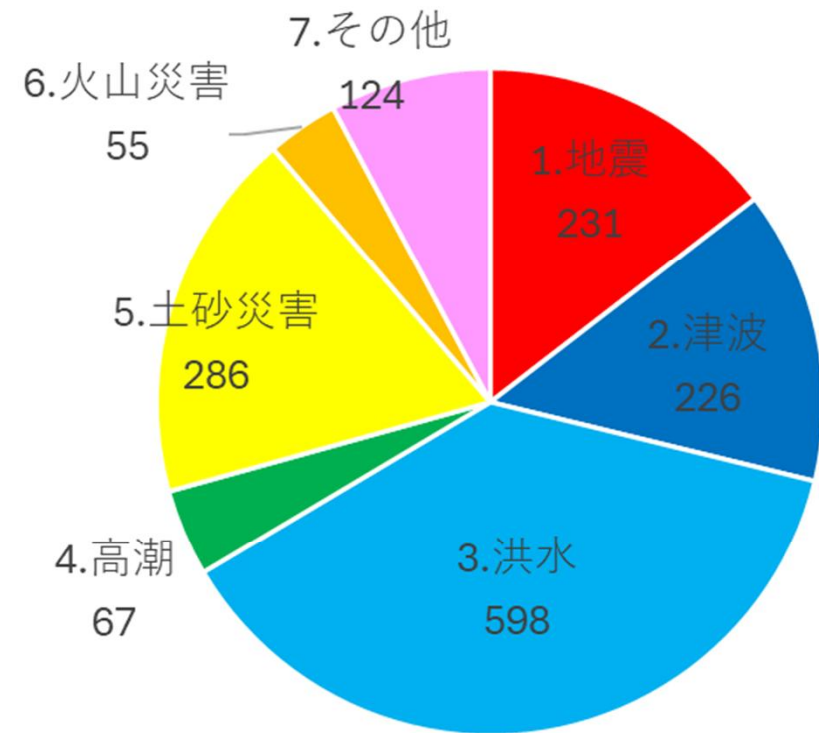
日本応用地質学会 2025年9月25日時点

3. 地理院、研究部会の災害碑の登録状況(4)

国土地理院 2025年9月25日時点



日本応用地質学会 2025年9月25日時点



■ 災害種類ごとの伝承碑調査割合(複数災害は重複計上)

■ 日本応用地質学会は、土砂災害、洪水、その他の災害碑が多い傾向にある。

■ 日本応用地質学会は、地震、津波は割合としてやや少ない傾向にある。

4. 国土地理院との連携状況(打合せ・情報交換)



自然災害伝承碑に関する国土地理院打合せ(意見交換会)状況

打合せ回数	日時	出席者(役職は打合せ時点)		議事など
第1回	令和4年(2022年) 4月28日(木) 13:30-14:50	国土地理院(9名)	災害地質研究部会(7名)	【議事次第】 1. 担当者紹介(国土地理院、日本応用地質学会災害地質研究部会) 2. 国土地理院における取組状況(国土地理院からの説明) 3. これまでの災害地質研究部会と国土地理院との意見交換状況 4. 災害地質研究部会の自然災害伝承碑(災害碑)調査票について 5. 災害地質研究部会の自然災害伝承碑調査票の作成状況 6. 自然災害伝承碑一覧表(暫定案)と国土地理院一覧表について 7. 「伝承碑」情報掲載に係る手続きについて(国土地理院) 8. 今後の進め方を含む意見交換
第2回	令和5年(2023年) 5月22日(木) 14:00-16:00	国土地理院(8名)	災害地質研究部会(13名)	【議事次第】 1. 議事および担当者紹介 2. 前回20220428議事録(地理院、研究部会確認済み) 3. 国土地理院における取組状況(国土地理院) 4. 災害地質研究部会の自然災害伝承碑(災害碑)活動状況 5. 災害地質研究部会の災害碑調査票の作成状況と登録の意見交換 6. 自然災害伝承碑の北海道における取り組み 7. 次回(第3回)打合せについて
第3回	令和7年(2025年) 2月5日(水) 14:00-16:00	国土地理院(6名) 応用地理部地理情報処理課 環境地理情報企画官1名 課長補佐(窓口)1名 指導官1名 専門職1名 係長1名 調査専門職1名	災害地質研究部会(15名) 北田災害碑担当幹事(学会副会長) 加藤(靖)災害碑担当・中部地区担当 木村災害碑担当・中国四国地区担当 稲垣災害地質研究部会長 下村災害碑HP担当 千田関東地区担当(地理院窓口) 金山関東地区担当 佐藤(昌)Web等担当 倉橋北海道地区担当 田近北海道地区担当 橋本東北地区担当 堀松北陸地区担当 塚本関西地区担当 西山中国四国地区担当 梅崎九州地区担当	【議事次第】 1. 議事および担当者紹介 2. 前回20230522議事録の確認(地理院、研究部会確認済み) 3. 国土地理院における現在の取組状況(国土地理院) 4. 災害地質研究部会の自然災害伝承碑(災害碑)活動状況(千田、各支部担当) ■日本応用地質学会R6年度研究発表会10月10日15:50-17:35「特別セッション」 「自然災害伝承碑から解き明かす地域災害」の報告 ◆川崎 茂信氏(元国土地理院長, 国土技術研究センター)の発表内容 (発表資料はを学会HPにUP済み) ◆発表会後の国土交通省九州地方整備局の防災室より問い合わせに対する九州支部の回答など 5. 災害地質研究部会の学会HPを利用したWeb公開に向けたシステムの準備(下村), 及び災害碑調査票の作成状況と登録にむけた意見交換(下村、金山、塚本) (国土地理院のHPから災害地質研究部会の調査票にリンクを貼る手法の検討など) 6. 次回(第4回)打合せについて(国土地理院とのセッションの提案? など)

6. 今後の自然災害伝承碑の取組みの方向性

■ 自然災害伝承碑の調査と教訓の展開

- ✓ 災害履歴の応用地質学的見解を加えた評価
- ✓ 災害調査研究情報の公開・利活用の推進
- ✓ アウトリーチ活動による地域社会への防災知識の展開
(本研究発表会での災害地質研究部会の活動紹介・参加者募集)
- ✓ 行政＝地域＝学界の協力・連携の創出と継続
- ✓ 国土地理院との情報交換(打合せ), 国土地理院のHPから学会の調査票のリンク, 防災教育等のアウトリーチ活動における国土地理院と学会との専門性を考慮した共同開催など

(以上, ご聴講いただきありがとうございました)